



東京・豊洲の公道で複数の自動運転車両を用いた オンデマンド移動サービスの実証実験を実施

国立大学法人群馬大学（学長：平塚浩士、以下「群馬大学」）は、豊洲コンセプト委員会^{（注1）}の取り組みの一環として、株式会社NTTデータ（以下「NTTデータ」）、大和自動車交通株式会社（以下「大和自動車交通」）とともに、東京都江東区豊洲の公道で複数の自動運転車両を用いたオンデマンド移動サービスの実証実験（以下「本公道実証実験」）を、2018年9月14日から計3日間実施します。

趣旨・目的

群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター（センター長：太田直哉）は、NTTデータ、大和自動車交通との自動運転に関する各共同研究の一環として、本公道実証実験に参画しています。

本公道実証実験では、3台の自動運転車両を用いて、豊洲地区の3つの乗降地点間を結ぶオンデマンド移動サービスを提供します。自動運転車両の運行に必要な、乗客からの配車依頼の受け付け、車両への走行指示、走行中の遠隔監視等を運行管制システムで実現します。

ファミリー層の多い都市部において、地域住民参加のもと本公道実証実験を行い、自動運転レベル4の技術を活用した移動サービスに対する要望・課題を把握し、安全で利便性の高い移動サービスの実現につなげることを目的としています。

本公道実証実験の概要

1. 走行日時（予定）

2018年9月14日(金)・19日(水)・20日(木)
のいずれも10時～13時、14時～17時
※雨天の際は中止する場合があります。

2. 走行ルート（次頁図参照）

豊洲駅周辺の公道として以下を乗降地点とし、それぞれの乗降地点間を結ぶ3つのルート

- ・東京メトロ有楽町線豊洲駅
- ・アーバンドックららぽーと豊洲
- ・豊洲地区のマンション

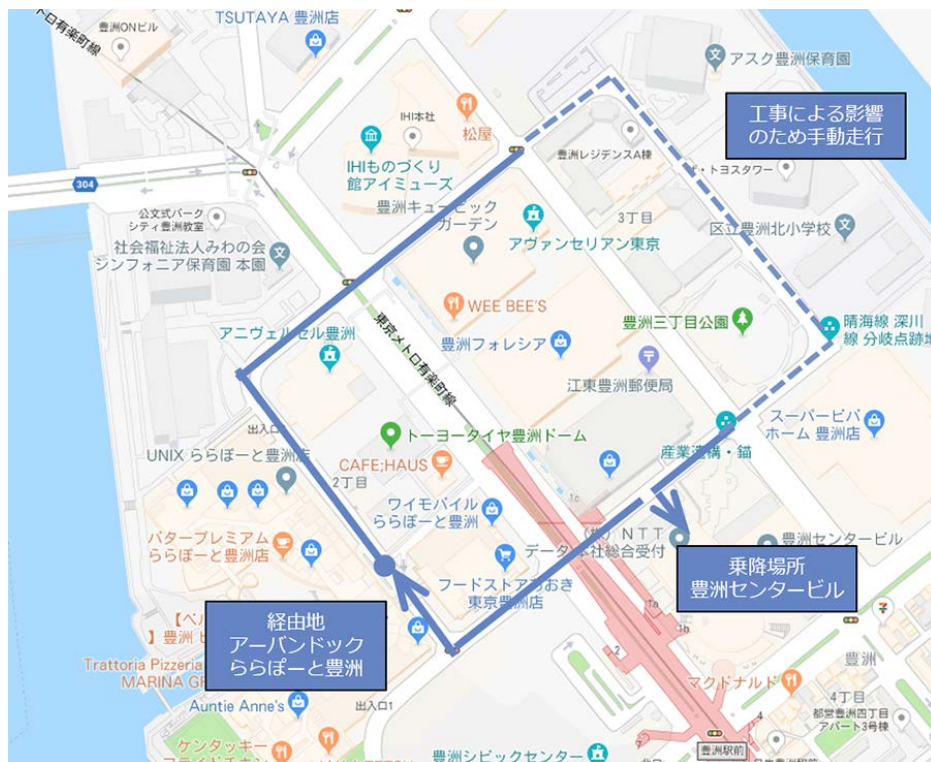
3. 乗客について

乗降地点であるマンションにお住まいの住民^{（注2）}

4. オンデマンド移動サービスの特長

- ・3台の自動運転車両を運行
- ・乗客は3つの乗降地点から出発地・目的地を指定可能
- ・上記走行時間内において、いつでも何度でも呼び出し（配車依頼）乗車が可能
- ・コミュニケーションロボット Sota による車内対話





(出所：Google マップをもとに作成)

走行ルートは、豊洲駅周辺の公道の3つのルートとなります。図のルートは下表 No.1 を示しています。

なお、本実証は乗客である豊洲地区の地域住民の方の協力のもと行うため、マンションを含む2つのルートの掲載は安全を配慮し差し控えます。

(道路状況等によっては、一部手動走行となる可能性があります。)

NO	走行ルート	走行距離
1	東京メトロ有楽町線豊洲駅 ～ アーバンドックららぽーと豊洲	往路：0.3km 復路：1.1km
2	豊洲地区のマンション ～ アーバンドックららぽーと豊洲	往路：0.7km 復路：1.9km
3	豊洲地区のマンション ～ 東京メトロ有楽町線豊洲駅	往路：1.7km 復路：0.9km

(注1) 豊洲コンセプト委員会は、豊洲地区をより魅力的、より利便性の高い街へ発展させるため、豊洲進出企業にて組成されたものです。
(株)IHI、三井不動産(株)、三菱地所(株)、(株)NTTデータが参画し、地域に根差した取り組みを行っています。

(注2) 既に乗客の募集を締め切っております。

群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター について

群馬大学は、次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点形成をめざし、2016年12月に「次世代モビリティ社会実装研究センター」を設置し、関連分野の企業や自治体との連携・協力関係のもとに、地域社会に根付く自動運転による移動サービスの創出に向けた研究と社会実装をめざした活動を進めています。限定された地域専用の自動運転研究開発に取り組み、実証実験の実績を蓄積していきながら、2020年に、技術的にも社会的にも自動運転に対応していく社会の実現、完全自動運転をはじめとする次世代モビリティの社会実装をめざします。

本件に関するお問い合わせ先

群馬大学 研究・産学連携推進機構

次世代モビリティ社会実装研究センター (担当：宇野・石坂) TEL：027-220-7443